

■壁掛式電気パネル暖房器



日本マーレー株式会社

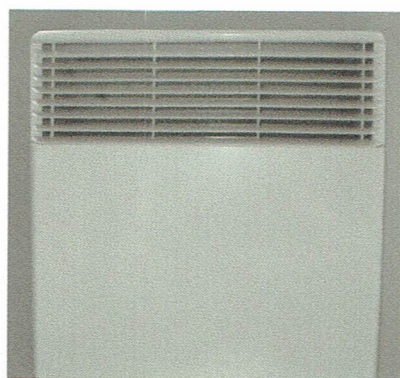
TEP-PJ型

電気パネルヒーター

取扱説明書

TEP-0250PJ~3500PJ

09.8月改訂



日本マーレー株式会社

埼玉オフィス 埼玉県幸手市東4丁目27番4号 TEL 0480-53-5622 FAX 0480-31-9153

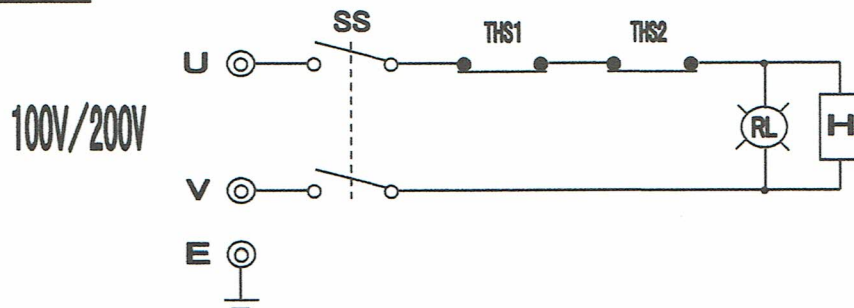
北海道オフィス 札幌市東区北38条東14丁目2-19-5号 TEL 011-788-8355 FAX 011-790-7199

このたびは弊社の電気パネルヒータをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
 ご使用前に、この「取扱説明書」を良くお読みいただき、正しく末永くご使用下さい。
 この「取扱説明書」をお読みいただいた後は、保守・点検のために大切に保存されますようお願い申し上げます。

1. 電気結線について

- ① 前面パネルを本体から取り外します。
- ② 下面・後面にロックアウトパンチにて電源取込穴を開けております。
- ③ 配線を電源取込穴を通し、電源端子台に結線します。
- ④ 接地用端子にアース線を結線します。
- ⑤ 結線に間違いのないことを確認後、前面パネルを取り付けます。

電気結線図



2. 運転

※ 表示電圧以外での使用はしないでください。

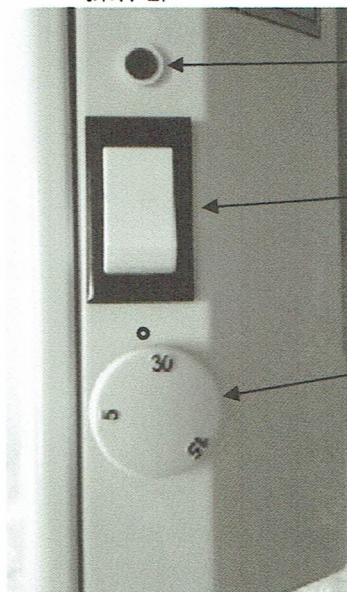
(1) 運転方法

- ① 本体右側面下部の運転スイッチをONにすれば、通電開始が可能な状態となります。
- ② 本体右側面下部の温度調節サーモスタットをご希望の温度に合わせてください。

(2) 運転中の確認事項

- ① 温度調節サーモスタットで設定した温度に達しますと温度調節サーモスタットが働き、通電ランプが消えます。温度が下がれば、再度、通電ランプが点灯します。
- ② 温度が異常に上昇することがあれば、過昇温防止サーモスタットが働き運転が停止します。更に、温度が上昇する場合は過昇温防止ヒューズが溶断して運転が停止します。

操作部



通電ランプ

通電中は、赤色のランプが点灯いたします。

運転スイッチ（上部：運転、下部：停止）

上部にスイッチを倒すと電源が入ります。
 下側にスイッチを倒すと電源が停止いたします。

温度調節サーモスタット

温度の設定をいたします。設定温度以上になると自動的に通電を停止いたします。設定温度以下になりますと通電を再開いたします。

3. 注意事項

お取り付け・御使用にあたっては、下記の点に御注意ください。

- ① 本体の上部に物を置かないでください。
- ② 本器は、水平かつ垂直な壁に取り付けてください。取り付ける壁面は90℃以上に耐えうる断熱材が必要です。（樹脂や塩ビ系の板への取り付けはできません。）
- ③ 床面から本器の底面迄の距離が10cm～25cmとなるようしてください。
- ④ 側面の家具又は、木材品より10cm以上はなしてください。
- ⑤ カーテンやブラインド等がある場合には本体から50cm以上離してください。
- ⑥ 本器を凹部に取り付ける場合は、空気出口（上部）より25cm以上空間を確保してください。
- ⑦ 吹出し口からゴミ等を入れないでください。万一、誤って物が入ってしまった場合は、速やかに運転スイッチと元電源をOFFにして、前面パネルを外して物を取り出してください。
- ⑧ 可燃物を近くに置かないでください。
- ⑨ 水をかけないでください。
- ⑩ 屋外では使用しないでください。
- ⑪ メンテナンスのできない場所には設置しないでください。
- ⑫ 埋め込んで使用しないでください。
- ⑬ お手入れ・メンテナンス・故障の際には、必ず運転スイッチ及び元電源を切ってからおこなってください。
- ⑭ 取扱の際には、ケガをしない様に手袋等をご使用ください。

■一般保守

作業項目	周 期	作 業 内 容	必要工具類
準 備		！パネルヒータの電源スイッチだけでなく、元電源も切る。	
温度調節用サーモの点検	●運転開始時 ●その後必要に応じて行う	①温度調節用サーモの調節温度が正常であるか点検する。（接点の音） ②ダイヤルのつまみのゆるみ、配線のゆるみのないことを確認する。	ドライバー テスター 温度計
過熱防止器の点検	●運転開始前 ●年1回	①過熱防止用のサーモの動作確認をする。	ドライバー テスター 温度計
表示灯の点検	●年1回	①通電ランプの確認（通電中点灯）	目視
絶縁抵抗の測定	●年1回	①500Vの絶縁抵抗計にて測定する。 ②0.2MΩ以上であることを確認する。	絶縁抵抗計
配線、コード類の点検	●年1回	①配線接続部のゆるみがあれば締め付ける。 ②コード類の劣化したものは取り替える。	ドライバー テスター